化学物質管理とリスクコミュニケーション



Nittobo











日東紡績株式会社 福島工場 福島第二工場

日東紡グループ



日東紡グループ10社

<u>日東紡福島第二工場</u>

昭和44年(1969年)~

グラスファイバー加工工場とし

て操業

日東紡福島工場 大正12年(1923年)~操業 グラスファイバー製造工場として

昭和42年(1967年)~操業



グラスファイバーの用途







日東紡福島工場、福島第二工場を取り巻く環境



福島第二工場 工業団地内にあるが、 前面は住宅街 福島工場 四方を住宅街に 囲まれた工場

全社中期経営計画「Relay101」

環境に関する全社方針

環境に関する全社方針

■日東紡全社方針

①省エネルギー促進

[地球温暖化防止]

◎「エネルギー使用合理化に関する法律 (省エネ法)」への遵法。二酸化炭素排出量の抑制。

有害物質管理 · 削減

[人の健康と安全な地域社会確保]

◎2010年度環境への排出量60%以上 の削減を目指す。(2002年度比)



③産業廃棄物削減

[循環型社会構築]

◎2010年度最終環境負荷ゼロ (ゼロエミッション)を目指す。

④コンプライアンス

[法令遵守]

◎環境関連法規、地域協定の遵守、 環境リスクゼロの実現。

PRTR物質を中心に取扱量、排出量の 削減活動を実施。



工場の化学物質管理とリスケコミュニケーション

.化学物質管理 化学物質管理委員会 新規資材購入·既存物質管理 化学物質パトロール

リスクコミュニケーションモニター委員会LTP測定法環境施設見学会



化学物質管理組織(委員会)

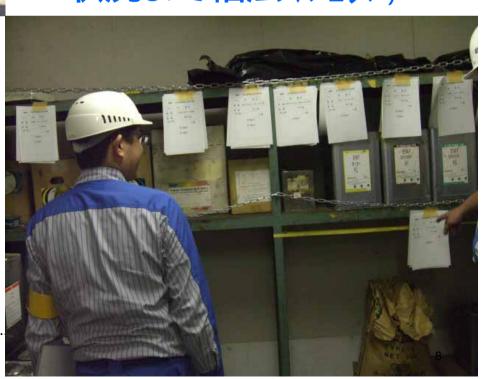
化学物質管理委員 工場長 化学物質管理者 環境管理責任者 化学物質事務局 衛生管理責任者 化学物質パトロール 産業医 各課 各課 衛生工学 各課 衛生管理者 衛生管理者 衛生管理者 衛生管理者 **Nittobo** 各製造部及び課



化学物質パトロール

化学物質委員会パトロール 化学物質管理委員のメンパー で定期にパトロールを実施 (薬品・試薬等の保管から 局所排気装置の設備・使用 状況まで幅広〈チェッケ)

産業医による 職場パトロール 産業医と化学物質事務 局によるパトロール (毎月、計画的に巡回)



工場の化学物質管理の取組

PRTR法よりも厳しい自主管理

PRTR法の裾切り1tonよりも厳しい 0.5tonでの年間取扱等の管理を実施

更に福島県適正管理指針により、 PRTR物質以外のアセトン、メタノール等 100kg以上の取扱量等を把握



新規資材購入(リスクアセスメント)

購入者が「リスク評価」を実施

応急·一時購入

(頻度、暴露等)



環境管理責任者が「環境影響」を審査



化学物質事務局は「有害性」を審査

応急·一時購入



化学物質管理者が「リスク評価」を承認



新規資材物質の購入が可能に



既存購入一覧表

既存の物質に対してはあらゆる面から評価した、 既存購入一覧表にて管理

適用法令の確認

消防法、毒劇法、ACGIH、悪臭法、廃棄物法、 PRTR法、県の適正管理指針を確認

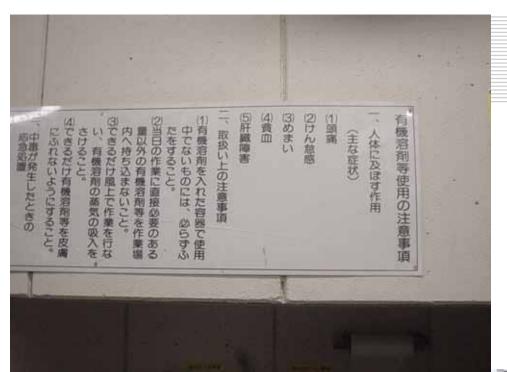
化学物質リスクアセスメント実施 有害性、頻度、暴露、使用量、従事者数を評価

環境影響リスクアセスメント実施 含有量、環境影響を評価

既存購入先調査を定期に実施







化学物質の徹底管理

安全対策

(MSDSの現場設置、有機 溶剤等の表示、取り扱い注 意事項表示の徹底)

環境対策

(溶剤置場、廃液置場の分離槽設置や緊急揚水 がソプによる構外への 流出防止策)



化学物質関連環境教育



.計画的な化学物質関係の資格取得

有機溶剤作業主任者、特化物質作業主任者、局所排気装置定期自主検査者、衛生管理者、衛生工学衛生管理者、作業環境測定士等

資格取得後の勉強会 資格取得者は社内において 勉強会を開催し、水平展開を実施



.職場での化学物質教育

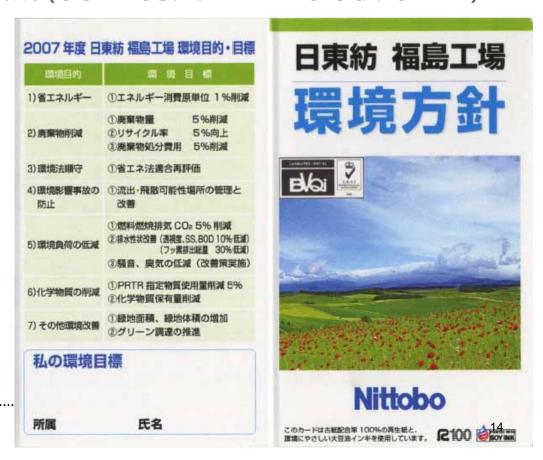
雇入時、職場移動時における化学物質に対する 安全教育を実施 Nittobo

工場の化学物質の削減

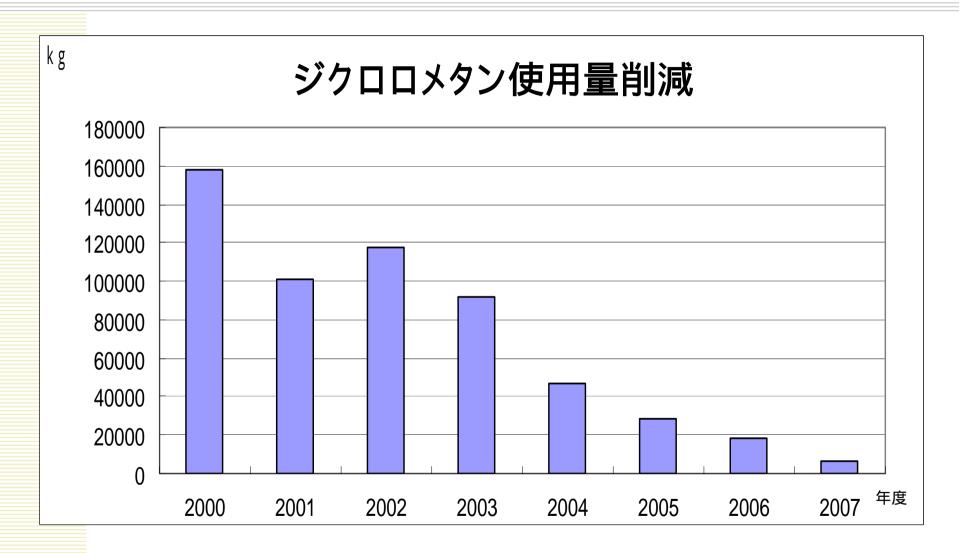
ホルムアルデヒドの代替化(完了) ジクロロメタン代替化(2000年度比で1/10に削減) フッ素排出量の削減(再生利用による回収率UP)

毎年、行動目標を 掲げ活動実施

化学物質の 取扱量、保管量、 排出量等を削減



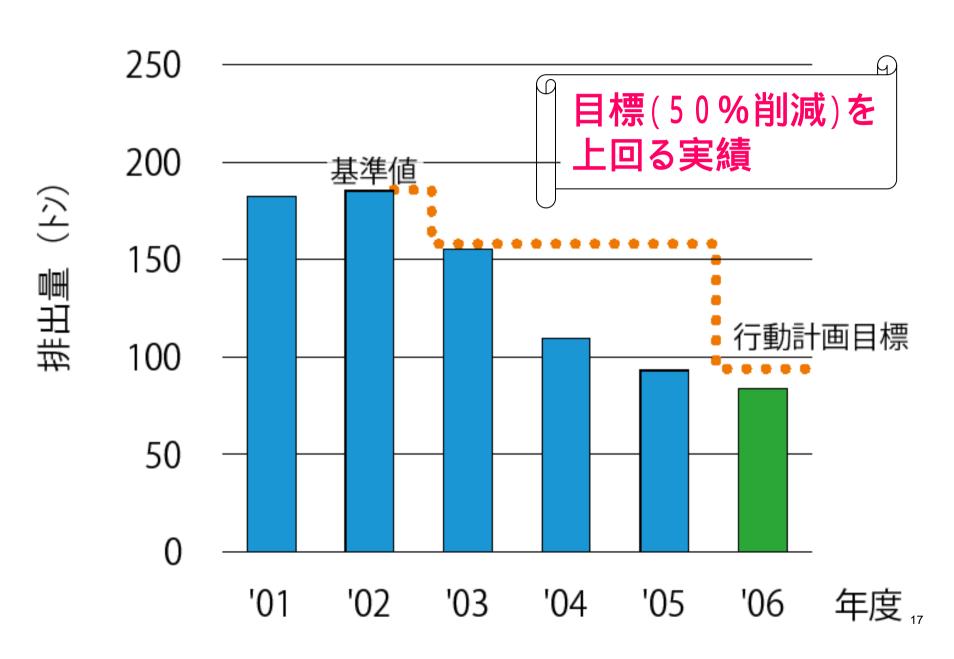
工場のジクロロメタン削減







全社におけるPRTR対象物質の排出量推移



リスクコミュニケーション

福島工場、第二工場共に住宅街に囲まれた工場

企業の発展



地域との共生が必要不可欠





リスクコミュニケーションの必要性

Nittobo

工場のリスクコミュニケーション

福島工場、第二工場では「モニター委員会」と称し、 工場近隣住民に「環境に関する説明会」としてリスクコミュニケーションを毎年2回定期的に8月と12月開催。 約40年近〈継続実施。

モニター委員会概要

地域の町会長及び役員 (地区で選出)

工場の環境測定結果の報告 (LTP測定法)

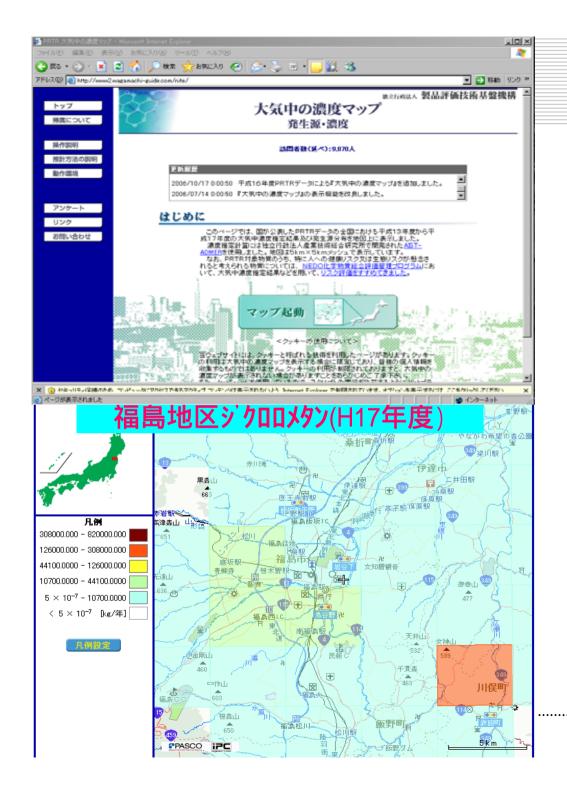
環境トピックス

質疑応答

アンケート







環境測定データ

報告内容

- ·LTP測定結果
- ·自社測定結果 (計量事業所測定)
- ·官庁立入結果
- · 大気中の濃度 マップによる 報告(NITE)



ガラス繊維とアスペスト

島近、新聞紙上において騒がれている「アスベスト」について皆さんはご存じでしょうか?。 福島工場で生産されているガラス機器(グラスファイバー)と「アスベスト」とは全く、 違う性質のものであり、ガラス機器には有害性、発力ン性は全くありません。。

IARC (国際発力ン研究機関) での調査による結果を下の一覧表に記載しました。...

分類。	内 容。	品 且 a a
	人に対して発力と性がある	たばこ、アスペスト
グループ2A.	人に対して発力ン性でありうる。	ティーゼル排ガス
	a	紫外線。
	人に対して発力ン性の可能性がある。	ウレダン、コーヒー
グループ3.	人に対して発力ン性はない	ガラス繊維
а		ナイロン、紅茶・

上の表からみて、コーヒーよりもガラス機器は安全なものです。ですからみなさん安心してください。尚、工場の隣接する住宅への環境影響も調査者みです。敷地境界におけるガラス機器数の測定の結果、敷地境界で1リットル中に1本以下(機器数)でした。(ガラス機器には規制値は存在しません。アスベストの規制値では1リットル中に10本が敷地境界の規制値です。通常の場所でも0.2~0.6本程度は存在します。)。

アスベスト



(類治鏡で見たアスペスト) ...



アスペストは主に談骨建家の断熱材として使用されて来ました。また、被害を受けた患者 さんはアスペストの製造や関連機場にて長期間に渡り、備いていた方が大半です。一般家庭。 においてはアスペストによる検索の心配はありませんのでご安心下さい。。

プスペスト表が施職

石綿の繊維一本の。 細さは、大体髪の毛の 5000分の1程度の。 細さであり、肉眼像 で区別することは まず困難です。 アスペストは天然の鉱物繊維です。火山から 噴き出た溶岩が水で冷やされるとき、特殊な条件のもとで、アスペストの結晶が繊維状に成長 いしていくのです。窓い冬の夜、土の中の水 分が凍って、霜柱がどんどん伸びていくのと似 ています。こうしてできたアスペストを、石炭と 同じように掘り出して使ってきたのです。 だから、アスペストは非常に安いのです。

アスベストは蛇紋岩系「ケルノタイル」

(白石線)」と角閃石系「アモサイト(茶石線)」並びに「クロシードライト(青石線)」が代表的な3物質となっています。アスペストーは耐熱性、耐薬品性、絶縁性等に優れ建材等に多く使用され、ました。発力ン性物質と騒がれ、現在ではクロシボライト、アモサイトーは使用禁止となり、クリンタイルにおいても1%以上の影響品の製造は禁止されています。

アスペストの中で最も有害なものかりロシドライト、次いで、 アモサイトであり、最も危険度の低いものが、 グリンタイル、と言われています。

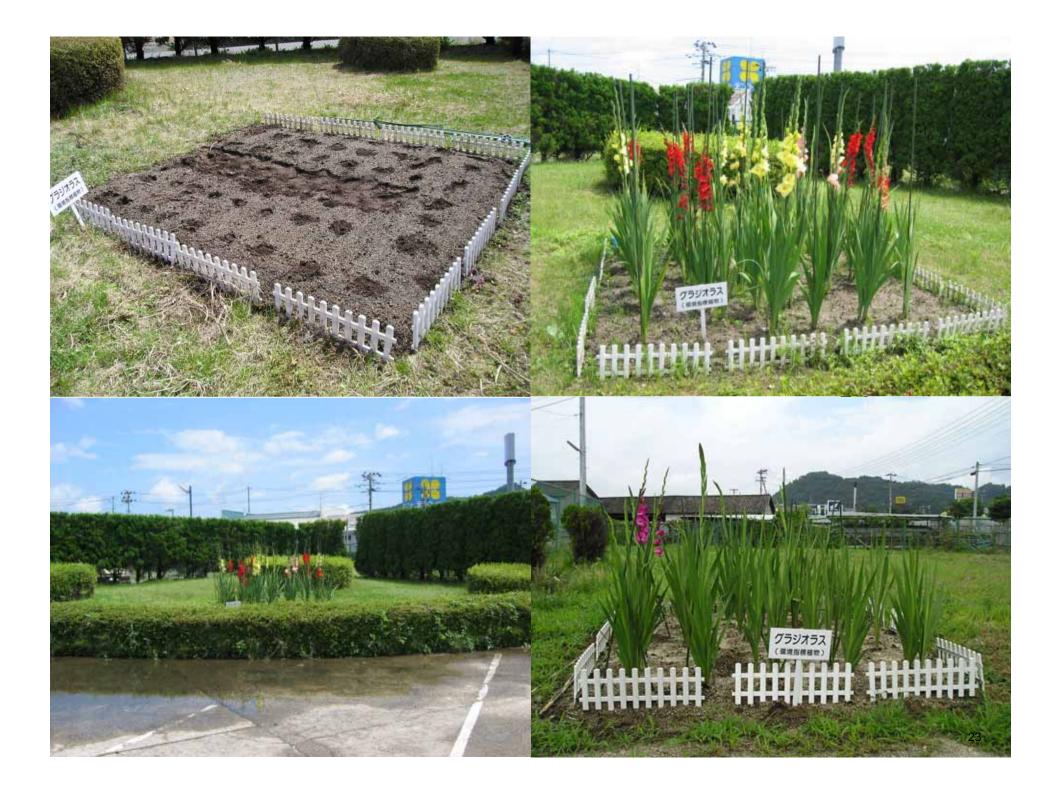
アスベストの繊維を肺に吸い込むと、20年~ 30年程度で中皮腫になる恐れがあるのです。

アスペストの名前の由来。

石綿という名前のとおり、綿のように柔 らから繊維ですが、鉱物の一種で、火にく べても燃えません。アスベストという言葉 は、「消すことができない」あるいは、 「永遠不滅」という意味のギルシャ語。

「永遠个級」という意味の中1シャ語。 から来ていきす。

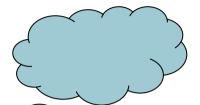




地域住民の立場になって



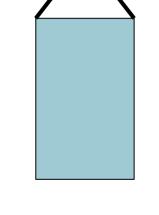
出口濃度 高



拡散効果

着地濃度 低





着地濃度の測定は困難である。 それを可能とした方法がLTP測定法

Nittobo

LTP測定法(lime treated filter paper method)

石灰水に浸して乾燥させた濾紙を大気中に放置して、濾紙に吸着したフッ素を測定する方法。長期間におけるその地域の暴露量を測定できる方法。

自然採取法であり、風向き等の影響を大き〈受ける欠点もあるが、それが実際の蓄積量となることから採用。



モニター委員会の注意事項

- ・タイムリーな環境情報を提供
- ・わかりやすい用語の説明も
- ・質問や疑問については必ず、回答
- ・懇親会においても、積極的に話しをして 聞き出すようにする
- ・モニター委員会終了後、意見や苦情等 を集約し、次回に報告



地域への貢献活動

ボランティア活動

- ・地区の用水路の清掃作業
- ・河川の除草作業
- ・河川敷のゴミ拾い作業











リスクコミュニケーション広報活動

工場モニター委員会の広報

・福島県大気環境グループ主催 「リスクコミュニケーションに関する事例発表会」 における参加及び事例発表



